

被災状況 MAP

石川県

住家被害 **9,442** 棟
 ボランティア
 ニーズ **642** 件
 活動者 **1,586** 名
 (延べ)
 人口 11,817 人 高齢化率 52.8%



住家被害 **12,832** 棟
 ボランティア
 ニーズ **621** 件
 活動者 **1,006** 名
 (延べ)
 人口 22,101 人 高齢化率 47.9%



住家被害 **6,423** 棟
 ボランティア
 ニーズ **755** 件
 活動者 **4,146** 名
 (延べ)
 人口 17,332 人 高齢化率 46.6%



住家被害 **2,660** 棟
 ボランティア
 ニーズ **352** 件
 活動者 **1,367** 名
 (延べ)
 人口 19,274 人 高齢化率 41.3%

住家被害 **1,513** 棟
 ボランティア
 ニーズ **50** 件
 活動者 **139** 名
 (延べ)
 人口 35,216 人 高齢化率 29.7%

住家被害 **1,528** 棟
 ボランティア
 ニーズ **192** 件
 活動者 **1,190** 名
 (延べ)
 人口 26,136 人 高齢化率 28.3%



住家被害 **6,142** 棟
 ボランティア
 ニーズ **512** 件
 活動者 **1,469** 名
 (延べ)
 人口 14,385 人 高齢化率 52.0%

住家被害 **3,963** 棟
 ボランティア
 ニーズ **852** 件
 活動者 **4,654** 名
 (延べ)
 人口 7,363 人 高齢化率 50.3%

住家被害 **15,283** 棟
 ボランティア
 ニーズ **1,697** 件
 活動者 **4,944** 名
 (延べ)
 人口 47,444 人 高齢化率 40.0%

住家被害 **2,943** 棟
 ボランティア
 ニーズ **693** 件
 活動者 **1,662** 名
 (延べ)
 人口 15,771 人 高齢化率 38.0%

住家被害 **999** 棟
 ボランティア
 ニーズ **92** 件
 活動者 **166** 名
 (延べ)
 人口 11,342 人 高齢化率 40.7%

住家被害	
金沢市	5,126 棟
加賀市	1,599 棟
白山市	291 棟
能美市	1,035 棟
野々市市	37 棟
川北町	19 棟
津幡町	1,548 棟



ボランティア情報
 特設サイトはこちら→

石川県内災害ボランティアセンター受付等状況
 令和 6 年 2 月 29 日現在

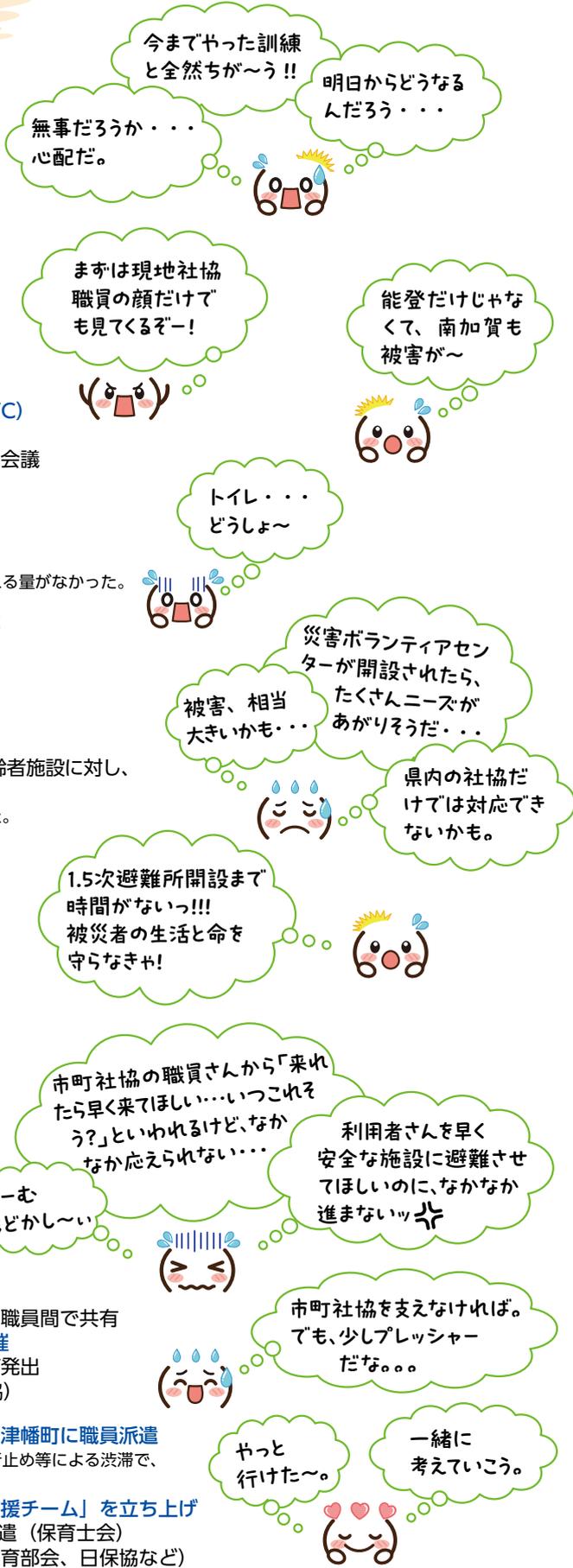
令和 6 年能登半島地震による被害等の状況について (石川県危機管理監室)
 第 102 報 令和 6 年 2 月 29 日 14 時 00 分現在

市町人口・高齢化率 令和 5 年 10 月 1 日現在

発災からの10日間

～石川県社協職員奮闘のキロク

- 1/1 (月)
 - ・16時10分発災 (最大震度7)
 - ・正規職員参集
 - ・県社協職員の安否確認
 - ☞避難しており出勤できない職員もいた。
 - ・市町社協へ情報収集
 - ☞各市町社協連絡担当者と電話が繋がらなかった。
 - ・社会福祉施設の被災状況把握 (各種別協)
 - ☞連休明け頃まで連絡のとれない施設が多数あった
- 1/2 (火)
 - ・震度6以上の連絡の取れた七尾市、中能登町、羽咋市、宝達志水町へ職員派遣
 - ・水、食料、ガソリン給油等、訪問の準備
 - ☞ガソリン給油制限、水の購入制限があった。
 - ・派遣者へ確認事項のレクチャー
 - ・加賀市社協より、災害ボランティアセンター (以下災害 VC) 立上げ支援依頼があり、職員を派遣
 - ・全社協職員派遣と災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 (支援P) ※1 の派遣を要請
 - ・生活福祉資金特例貸付の準備
 - ・被災施設の食料等支援ニーズに応えるため、金沢以南の高齢者施設に対し提供可能物資等を調査 (老施協)
 - ☞金沢以南の施設も備蓄食料を使用していたため、被災地に届けられる量がなかった。
- 1/3 (水)
 - ・震源地に近い輪島市、穴水町、七尾市、志賀町へ職員派遣
 - ☞金沢と能登半島をつなぐ主要道路の通行止めにより、渋滞が発生。輪島市はたどり着けなかった
 - ・ボランティア保険特例適応の準備
 - ・義援金受付の準備開始
 - ・東海北陸ブロック社協に応援職員の派遣の相談
 - ・被災施設の利用者避難ニーズに応えるため、金沢以南の高齢者施設に対し、利用者の受入可能人数等を調査 (老施協)
 - ☞後日、利用者受入調整窓口が県保健医療福祉調整本部に設置された。
- 1/4 (木)
 - ・県内で最初に加賀市災害 VC が活動開始を決定
 - ・珠洲市、輪島市、能登町は依然電話にて状況確認
 - ☞市町社協職員と連絡がつかず、安否確認もできない状況が続いた。
- 1/5 (金)
 - ・加賀市災害 VC 開設に向けた打ち合わせ
- 1/6 (土)
 - ・1.5次避難所の開設にあたり、石川県 DWAT ※2 の派遣の調整
 - ・奥能登地域の高齢者施設利用者の一斉避難が始まり、受入調整コーディネーターとしてケアマネジャーを県保健医療福祉調整本部へ派遣 (ケアマネ協)
 - ☞利用者の移送は、行方不明者の捜索と並行して行われたため、緊急車両の使用が制限され、搬送に時間がかかった。
- 1/8 (月)
 - ・石川県県民ボランティアセンターとの情報共有会議
 - ・1.5次避難所が所開設され、石川県 DWAT を派遣
 - ・高齢者施設等に対する支援体制会議への参加
- 1/9 (火)
 - ・各市町社協の支援担当者を決定。チームで支援する体制を職員間で共有
 - ・オンラインで県内全市町 (19市町) の情報共有会議を開催
 - ・厚労省から、生活福祉資金特例貸付の実施について通知が発出
 - ・全国老人福祉施設協議会 DWAT ※3 の派遣を要請 (老施協)
- 1/10 (水)
 - ・珠洲市、輪島市、能登町、中能登町、羽咋市、かほく市、津幡町に職員派遣
 - ☞ようやく県内のすべての市町社協を訪問することができたが、通行止め等による渋滞で、県社協に戻るまでに6時間以上かかった職員も…
 - ・種別を横断した会議を開催し、県社協部会協議会「福祉支援チーム」を立ち上げ
 - ・1.5次避難所キッズスペースに、保育士ボランティアを派遣 (保育士会)
 - ・オールこどもいしかわ被災地支援金と物資の募集開始 (保育部会、日保協など)



※1 被災地主体のボランティア活動に寄与するため、平成16年10月の新潟県中越地震発生の後、平成17年1月に中央共同募金会に設置された、企業や社協、NPO、共同募金会が協働するネットワーク組織
 ※2 災害発生後、被災地に入り一般避難所等の一次避難所で高齢者や障害者など要配慮者の支援を行う専門チームで、都道府県単位で設置されている。
 ※3 被災地域の高齢者施設において、施設利用者等の支援を行う専門チームで、全国老人福祉施設協議会が設置している会員相互支援の仕組み。



ボランティアへ資機材の貸し出しをします(中能登町)



ボランティアが壊れたブロック塀を運びます(津幡町)



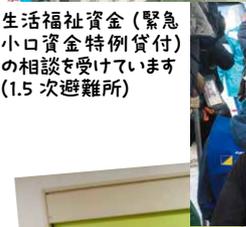
曾々木海岸は輪島市と珠洲市をつなぎます(輪島市)



ONE TEAM 復興に向け心は一つ(穴水町)



ボランティアの安全確保のため、活動内容を確認します(羽咋市)



生活福祉資金(緊急小口資金特例貸付)の相談を受けています(1.5次避難所)



応援社協職員がボランティアバスで来た活動者へ説明を行います(輪島市)



家電バンクで、避難されてきた方に少しでも安心を(野々市市)



被災施設からの移送 自衛隊さんお願いします(老施協 DWAT)



災害 VC & ささえ愛センターで住民とともに歩みます(珠洲市)



R4水害のときの恩返しと社協ネットワークで取り組みます(小松市)



みさきデイサービスセンターの庭に美しく咲きほこっています(珠洲市)



県外からも心強い応援をうけて災害 VC を運営します(穴水町)

1人では持つことができないものも運搬してくれます(宝達志水町)



九谷焼カップでお茶飲んで、じんのびしていくこっちゃんね〜(能美市)



災害廃棄物を丁寧に仕分けします(珠洲市)



地元住民も社協と共に災害たすけあいセンターのメンバーとして活躍しています(輪島市)



オリエンテーションで災害 VC のルールを伝えます(中能登町)



二次避難所でボランティアが食事をふるまいます(加賀市)



災害 VC で被災された方からのニーズを受け付けます(珠洲市)



活動初日には多くのマスコミも訪れました(七尾市)

